

選 挙 公 示
2021年5月7日

日本気象学会九州支部選挙管理委員会
選挙管理委員 松本 積・蛇嶋 成一

第41期日本気象学会九州支部理事の補充選挙について

標記について、下記のとおり選挙を実施します。

今回は候補者数が今回補充する理事の数を超えていないため、信任投票とします。

記

1. 候補者氏名（届出順）

中辻 剛	福岡管区气象台・気象防災部長
羽廣 正樹	熊本市役所危機管理防災総室・主任技師
松村 崇行	福岡管区气象台・台長
滝下 洋一	鹿児島地方气象台・台長

2. 理事の定数 4名

3. 投票の方法

無記名の信任投票となります。
郵送された立候補者の所信を参考に、投票用紙に信任の場合○を、
不信任の場合×を記入し、郵送ください。
○×以外が記入されている場合（無記入を含む）は、その候補者
に対する投票は無効とします。

4. 投票締切日

2021年5月24日（月）（必着）
※5月7日に投票用紙および立候補者の所信等を発送しました。万
一数日たっても投票用紙等が届かない場合は、九州支部選挙管理委
員会までご連絡ください。

5. 投票用紙送付先

〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36
福岡管区气象台 気象防災部防災調査課内
日本気象学会九州支部 選挙管理委員会
電話：092-725-3614 e-mail: info@msj-kyushu.jp

第 41 期日本気象学会九州支部理事補充選挙候補者

ふりがな なかつじ つよし
氏名： 中辻 剛

職業： 福岡管区気象台・気象防災部長

所信： 私は、平成 2 年に気象大学校を卒業し、以降大分地方気象台、福岡管区気象台勤務を経て、気象庁本庁などで勤務、本年 3 月に福岡管区気象台気象防災部長に着任いたしました。大学校では、非線形の孤立波動であるモドンの数値実験を自らプログラミングをしてやったりしております。以降は地震火山業務や防災・危機管理業務を担当することが多く、気象学から遠のいておりましたが、福岡に来て以降は予報会報を毎朝聞いて、勘を取り戻そうとしているところです。九州支部は九州および山口県在住の気象学会員によって構成され、支部会員の研究の奨励・推進と相互の連絡を目的とした活動を行っており、これまでの経験を活かして、それら活動に少しでも貢献出来たらいいと考えて立候補させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

ふりがな はびろ まさき
氏名： 羽廣 正樹

職業： 熊本市役所 危機管理防災総室・主任技師

所信： 私は、子どもの頃から気象学が大好きで、2010 年に気象予報士を取得、現在は防災部局で気象予報士の知識を最大限活用して、出水期前の防災啓発や大雨時の避難情報の発令などの業務に取り組んでいます。また、一人の気象予報士として、気象災害で犠牲者ゼロの社会の実現に微力ながら貢献できるよう啓発活動を行っています。しかし、毎年どこかで災害が起こり、改めて気象学の奥深さを感じていました。防災業務を行う者として、いち気象予報士として、歴史ある本学会で気象学を学び、微力ながら気象学の普及及び発展に貢献したいと思い、立候補いたします。

ふりがな まつむら たかゆき
氏名： 松村 崇行

職業： 福岡管区気象台・台長

所信： 気象庁で数値予報技術開発や気象防災業務に長年携わってきました。気象庁ではいま気象監視予測技術の向上と気象情報の普及・活用促進が喫緊の課題となっています。気象学の最先端の知見を産学官の連携強化を通じて社会実装に繋げていくことが地域の防災や産業発展のために重要と認識しています。また、人々に気象学の楽しさや不思議さを実感していただきながら自然災害への対処を身につけて頂けるような取り組みも大切だと考えています。九州支部の運営に関わることを通じて気象学の発展に貢献してまいります。

ふりがな たきした よういち
氏名： 瀧下 洋一

職業： 鹿児島地方気象台・台長

所信： 九州は、毎年のように顕著な大雨により大きな災害が発生しています。このような現象から命を守るためには、防災関係機関や住民一人ひとりが適時に防災対応を行う必要があります。防災対応を支えるのは、現象の科学的知見に基づいた的確な防災気象情報であり、現象のメカニズムの解明など日本気象学会が果たす役割はますます重要になっていると感じています。気象台においても、気象災害から住民の命を守るため、地域防災力の強化に向けて取組を強化しているところであり、知識の普及・啓発につながるよう取り組んでいきたいと考えております。